

ファンボロー・エアショー代替イベント 「FIA Connect 2020」

今年7月に開催が予定されていたファンボロー・エアショー（FIA2020）は、新型コロナウイルスの世界的パンデミックにより中止になったが、予定されていたエアショーの会期である7月20日～24日に代替イベントとして、オンラインによる「Farnborough International Airshow (FIA) Connect 2020」が行われた。主催者であるFarnborough International Limited (FIL) が公表した結果概要をご紹介します。

- ・世界最大級の航空宇宙、防衛産業の展示会としては初となるデジタル・イベントのFIA Connectは、期間中、レベルの高い内容を届けるとともに政府および産業界の有力者の参画を得て、大いに成功した。
- ・会期の5日間に産官学から247名の講演者による99件のセッションが行われた。セッションには142社、97カ国から約14,000人が参加した。
- ・FIA Connectにより、ファンボロー・エアショーがこれまで世界中の団体に提供してきた戦略上有益な機会を、人と人が会えない環境においても繋げられることが実証された。
- ・FIA Connectは、各種講演を紹介する「FINN (Farnborough International News Network) Sessions」の他、B to B企画の「MEET THE BUYER」、若年層へのSTEM教育を担う「FARNBOROUGH FRIDAY」などの企画により構成されており、MEET THE BUYERにおいては約460件のミーティングが行われ、75名のバイヤーと244社のサプライヤー

による商談が実行された。

FARNBOROUGH FRIDAYは、若年層に対して航空宇宙産業における感動、そして将来に向けて活躍の好機があることを紹介。次世代へのガイドとなるSTEM教育は産業界にとっても貴重な機会であった。

FIA Connectはオンラインによるイベントであったことから、期間中の講演などのビデオ映像が会期終了後も2週間にわたって公開された。再度講演を聴講することや、期間中に参加できなかった講演にもアクセスできるなど、web方式ならではのメリットと考える。

FIA2020には、当工業会も会員企業とともに出展する計画であったことから、3月に開催の中止が決定された際には残念に思った。しかしながら、コロナ禍への対応として急遽FILが取りまとめたFIA Connect 2020は、展示の要素はないものの、多くの貴重な情報が発信され、新しい形のイベントとして有効であったと考える。そして1932年が第1回目であった当該エアショー（ファンボローでの開催は1948年から）は途中戦時中の中断はあったが、今回のFIA Connect 2020により、その長い歴史が繋がったものと思う。

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 広報部長 高木 伸吾〕